

三年学年だより

No. 1 4月号

令和5年4月発行

3年学年主任

出口の見えた35期生、光が差ししてきた。

今年の校庭の桜も3月下旬から咲きはじめ、ちょうど今満開を迎えています。風に舞う桜の花びらもこの時期の風物詩。ただこのあと雨の予報となっており、もしかすると今日が見納めとなるかもしれません。あと数時間、季節の色を楽しみたいと思います。

35期生として入学してから2年が経ち、いよいよ高校生活最後の1年が始まります。「新型コロナウイルス感染症拡大防止」という言葉により、君たちにはたくさんの制限がありました。新しいスタイルを取り入れながら、中央高校で可能な限りの学びを続けてきた今、いよいよ出口が見えそうです。閉ざされていた心を大きく躍動させるにはハリハビリの期間が必要かもしれませんが、光を浴びて少しずつ心と身体を前進させましょう。

最高学年である3年生はこれからの人生を決める大切な時期です。「進路実現」という大きな関所から目を背けることはできません。「社会」という名のコミュニティに、どういった立場で君たちが加入するかが大切です。先月行われたWBCで、侍ジャパンの栗山監督をはじめ選手全員が、「普段は憧れであるアメリカのスーパースター軍団だが、決勝戦では憧れ意識があったら彼らに勝つことはできない。憧れを今日だけは捨てましょう。」との思いを持って戦い、世界一位の座に輝きました。この素晴らしい結果が、我々に夢と希望を与えてくれたと感じています。あなたの夢は何ですか？ 希望を持っていますか？ 夢や希望を実現させるためには、しっかりとした目標を立てることが大切です。保護者の方や担任の先生とコミュニケーションを取りつつ、憧れだけで終わらせないための情報収集と地道な努力をしてください。

昨年4月、成人年齢が20歳から18歳に引き下げられましたね。今までは保護者に助けられ、保護者の責任において君たちの行動が守られてきました。これからは、自身の行動・言動に自らが責任を取らなければならなくなる年齢です。最近のニュースで、「その時は楽しかった」「ノリに任せてしまった」などという発言が残念ながら聞こえてくる場面があります。複数人していると、その場の流れと勢いで後先考えず行動してしまうのでしょうか……。中央生としての学校生活に変わりありませんが、18歳を迎える年、受験生となるこの1年は、特に自分をしっかり見つめてもらいたいと思います。まさに「自らを律せよ」です。とは言っても、密度の濃い1年を求めれば求めるほど、目の前に大きな壁が出現するでしょう。そんなときこそ、同じ道を歩んでいる仲間を頼りにしてください。もちろん先生方や保護者の方も味方です。自分をしっかり持ち、前に向かって進んでいけば、自ずとあなたの道が開けてくるでしょう。

オリジナルであるために学び続ける

坂本龍一